

関西学院大学大学院

外国人留学生海外推薦入学制度推薦要項

2026 年度秋出願（2027 年度春学期入学・秋学期入学）

【2027 年度春学期入学】

文学研究科（博士課程前期課程、博士課程後期課程）
社会学研究科（博士課程前期課程、博士課程後期課程）
経済学研究科（博士課程前期課程、博士課程後期課程）
商学研究科（博士課程前期課程、博士課程後期課程）
総合政策研究科（博士課程前期課程、修士課程、博士課程後期課程）
言語コミュニケーション文化研究科（博士課程前期課程、博士課程後期課程）
理工学研究科（博士課程前期課程、国際修士プログラム、博士課程後期課程）
経営戦略研究科（専門職学位課程）

【2027 年度秋学期入学】

総合政策研究科（修士課程）
言語コミュニケーション文化研究科（博士課程後期課程）
理工学研究科（国際修士プログラム、博士課程前期課程、博士課程後期課程）
経営戦略研究科（専門職学位課程）



関西学院大学国際教育・協力センター
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
電話 +81-798-51-0952
E-mail intl-admissions@kwansei.ac.jp

外国人留学生海外推薦入学制度推薦要項目次

大学院海外推薦入学制度について	2
1. 受入研究科	2
2. 推薦基準（出願資格）	4
3. 出願・推薦書類	8
4. 送付方法・送付先	14
5. 推薦期間	14
6. 合格発表	14
7. 入学検定料	14
8. 奨学金制度	15
9. 入学手続	16
10. 学費	17
11. 入学後の身分【文学研究科・理工学研究科・言語コミュニケーション文化研究科のみ】	20

外国人留学生海外推薦入学制度について

関西学院大学大学院では、本学と深い交流関係がある海外協定大学から推薦により優秀な外国人留学生を受け入れる制度を設けております。本入試制度における合格者のうちより優秀な者には、所定の人数に研究助成を目的とし大学院外国人留学生海外推薦入学奨学金を支給します。また、本奨学金採用者は、国費外国人留学生制度への推薦を行うため、月額奨学金なども受給できる可能性があります（本制度に推薦されるためには、文部科学省が定める資格、条件を満たす必要があるため、採用は保証できません）。

1. 受入研究科

研究科名	課程	専攻	入学 時期	標準修業 年限	教授 言語	キャン パス*	募集 人数
文学研究科(一部専攻) https://www.kwansei.ac.jp/graduate/humanities/	博士課程前期課程	哲学倫理学領域、 アジア史学領域、 日本文学領域	2027 年 4 月	2 年	日本語	NUC	若干名
	博士課程後期課程	アジア史学領域		3 年			
社会学研究科 https://www.kwansei.ac.jp/gs_sociology/	博士課程前期課程	全専攻		2 年			
	博士課程後期課程	全専攻		3 年			
経 済 学 研 究 科 https://www.kwansei.ac.jp/gs_economics/	博士課程前期課程	全専攻		2 年			
	博士課程後期課程	全専攻		3 年			
商学研究科 https://www.kwansei.ac.jp/graduate/business/	博士課程前期課程	全専攻		2 年			
	博士課程後期課程	全専攻		3 年			
総 合 政 策 研 究 科 https://www.kwansei.ac.jp/gs_policy/	博士課程前期課程	総合政策専攻	2027 年 4 月 または 2027 年 9 月* *国連シ ステム政 策専攻の み	2 年	英語	KSC	
	修士課程	国連システム政策専 攻					
	博士課程後期課程	総合政策専攻		3 年			
言語コミュニケーション 文化研究科 https://www.kwansei.ac.jp/gs_language/	博士課程前期課程	全専攻	2027 年 4 月	2 年	日本語	NUC	
	博士課程後期課程	全専攻	2027 年 4 月 または 2027 年 9 月	3 年			

(次ページに続く)

研究科名	課程 (プログラム)	専攻 (プログラム)	入学 時期	標準修業 年限	教授 言語	キャン パス*	募集 人数
理工学研究科 https://www.kwansei.ac.jp/gs_sci-tech/	博士課程前期課程	全専攻	2027 年 4 月 または 2027 年 9 月	2 年	日本語	KSC	若干名
	国際修士 プログラム	物理・宇宙物理学 専攻、先進エネル ギーナノ工学専 攻、化学専攻、環境 応用化学専攻、生 物科学専攻、生命 医科学専攻			英語		
	博士課程後期課程	全専攻		3 年	日本語 または 英語		
経営戦略研究科 https://iba.kwansei.ac.jp/imc/	専門職学位課程	経営戦略専攻 国際経営コース (MBA プログラム)		2 年	英語	NUC/ OUC	

*キャンパス

NUC：西宮上ヶ原キャンパス（兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155）

KSC：神戸三田キャンパス（兵庫県三田市学園上ヶ原 1 番）

OUC：大阪梅田キャンパス（大阪市北区茶屋町 19-19 アプロースタワー 14 階）

※1 各研究科における受入可能人数は若干名です。特定の研究科に推薦が集中した場合、推薦を受けられない可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※2 オンライン面接等で本人の日本語または英語能力及び専門分野を確認することがあります。

※3 教授言語が英語の課程・プログラムについては、英語版の要領を参照してください。

2. 推薦基準（出願資格）

以下に定める「Ⅰ. 全研究科共通要件」および「Ⅱ. 研究科個別要件」を満たす者。

Ⅰ. 全研究科共通要件

以下の(1)～(3)の要件を満たし、博士課程前期課程、修士課程および専門職学位課程を志望する者についてはさらに(4)の要件を満たす者。

(1) 外国籍を有する者。ただし、理工学研究科の国際修士プログラムを除く。

(2) 本学の協定大学（別紙協定校リスト参照）で所定の学位※を取得した者および入学までに取得見込の者。

※【博士課程前期課程、修士課程、専門職学位課程 志願者】学士の学位と同等以上の学位

【博士課程後期課程 志願者】修士学位と同等以上の学位

(3) 出願までに、本学の希望指導教員と連絡をとり、その教員より承諾を得た者。ただし、経営戦略研究科を除く。

<連絡先>

研究科名	連絡先	備考
文学研究科	0798-54-6201	本人の日本語または英語能力及び専門分野を確認できること。
社会学研究科	備考欄の PDF 参照	https://www.kwansei.ac.jp/assets/shagaku8_2027.pdf
経済学研究科	eco-gra@kwansei.ac.jp	-
商学研究科	sba_gra@kwansei.ac.jp	-
総合政策研究科	ksc-admission@kwansei.ac.jp	-
言語コミュニケーション 文化研究科	genkomi@kwansei.ac.jp	博士課程前期課程については、必ずしも教員とのコンタクトをお約束するものではありません。
理工学研究科	EngMS@kwansei.ac.jp	-

(4) 博士課程前期課程、修士課程および専門職学位課程を志望する者は、外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および入学までに修了見込の者。

これに満たない者については、本学の個別の入学資格審査が必要になる可能性がありますので、2026年9月16日までに国際教育・協力センターまで問い合わせること。intl-admissions@kwansei.ac.jp

Ⅱ. 研究科個別要件

各研究科・課程が定める以下の要件をすべて満たす者。

<文学研究科>

課程	番号	研究科個別要件
博士課程前期課程 博士課程後期課程	1	日本留学試験（EJU）で「日本語」・「総合科目」の2科目を受験していること。
	2	日本留学試験（EJU）の「日本語」で「聴解」「聴読解」「読解」の合計が300点以上で、かつ「記述」が40点以上の成績を修めていること。
	3	日本語能力試験 NI（JLPT）（2009年度以前はⅠ級）に合格している者で、点数が130点以上の者。

<社会学研究科>

課程	番号	研究科個別要件
博士課程前期課程	1	本学の協定大学で社会学、社会心理学、文化人類学、民俗学のいずれかを専攻していること、あるいはこれらのいずれかに十分な知識を有すること。
	2	日本語での授業を受けるに足る日本語能力を有している者（日本留学試験（EJU）の日本語（記述問題除く）で 240 点以上取得または日本語能力試験 N I（JLPT）（2009 年度以前は I 級）に合格していることが望ましいが、推薦基準（出願資格）とはしない。
	3	英語を母語としない出願者の場合、TOEFL iBT® 80 点以上、出願者の場合、TOEFL PBT®もしくは TOEFL ITP®550 点以上、IELTS5.5 以上のスコアを有する者。
博士課程後期課程	1	本学の協定大学院で社会学、社会心理学、文化人類学、民俗学のいずれかを専攻していること、あるいはこれらのいずれかに十分な知識を有すること。
	2	日本語での授業を受けるに足る日本語能力を有している者（日本留学試験（EJU）の日本語（記述問題除く）で 240 点以上取得または日本語能力試験 N I（JLPT）（2009 年度以前は I 級）に合格していることが望ましいが、推薦基準（出願資格）とはしない。
	3	英語を母語としない出願者の場合、TOEFL iBT® 80 点以上、出願者の場合、TOEFL PBT®もしくは TOEFL ITP®550 点以上、IELTS5.5 以上のスコアを有する者。

※本研究科における講義・演習などの授業科目は主に日本語で教授される。ただし、指導教員によっては英語での研究指導を可能とする場合がある。また、修士論文・博士論文は日本語で執筆することを原則とするが、英語による執筆を認める場合がある。英語の使用については、指導を希望する本研究科教員に確認のうえ承諾を得ること。

<経済学研究科>

課程	番号	研究科個別要件
博士課程前期課程	1	本学の協定大学で経済学を専攻していること。
	2	日本留学試験（EJU）の日本語（記述問題除く）で 240 点以上取得または日本語能力試験 NI（JLPT）（2009 年度以前は I 級）に合格している者。証明書を持たない者は、経済学研究科が交付する所定の用紙を提出すること。（日本語学校等で出願者の日本語能力試験（JLPT）NI に準ずる旨の証明を受けること。）
	3	英語圏以外からの出願者の場合、以下のいずれかのスコアもしくは資格を有する者。①TOEFL iBT®（MyBest スコアは利用しない）62 点以上、②TOEIC L&R®（TOEIC IP®を除く）600 点以上、③英検（実用英語技能検定）の準 I 級以上、④IELTS 5.0 以上。（出願日より起算して過去 2 年以内に受験したものにかぎる）

博士課程後期課程	1	本学の協定大学院で経済学を専攻していること。
	2	日本留学試験（EJU）の日本語（記述問題除く）で 240 点以上取得または日本語能力試験 NI（JLPT）（2009 年度以前は I 級）に合格している者。証明書を持たない者は、経済学研究科が交付する所定の用紙を提出すること。（日本語学校等で出願者の日本語能力試験（JLPT）NI に準ずる旨の証明を受けること。）
	3	英語圏以外からの出願者の場合、以下のいずれかのスコアもしくは資格を有する者。①TOEFL iBT®（MyBest スコアは利用しない）62 点以上、②TOEIC L&R®（TOEIC IP®を除く）600 点以上、③英検（実用英語技能検定）の準 I 級以上、④IELTS 5.0 以上。（出願日より起算して過去 2 年以内に受験したものにかぎる）

<商学研究科>

課程	番号	研究科個別要件
博士課程前期課程	1	本学の協定大学で商学ないし経営学を専攻していること、あるいはそれに準ずる学力を有していることを証明できること。
	2	日本留学試験（EJU）の日本語（記述問題除く）で 240 点以上取得している者、または日本語能力試験 NI（JLPT）（2009 年以前は I 級）に合格している者。旨の証明を受けること。）
	3	英語圏以外からの出願者の場合、TOEFL PBT®もしくは TOEFL ITP® 550 点以上、TOEFL iBT® 80 点以上のスコアを有する者。
博士課程後期課程	1	本学の協定大学院で商学ないし経営学を専攻していること。
	2	日本留学試験（EJU）の日本語（記述問題除く）で 240 点以上取得している者、または日本語能力試験 NI（JLPT）（2009 年以前は I 級）に合格している者。旨の証明を受けること。）
	3	英語圏以外からの出願者の場合、TOEFL PBT®もしくは TOEFL ITP® 550 点以上、TOEFL iBT® 80 点以上のスコアを有する者。

<総合政策研究科>

課程	研究科個別要件
総合政策専攻(博士課程前期課程・博士課程後期課程)	日本留学試験（EJU）の日本語（記述問題含む）で 270 点以上取得または日本語能力試験（JLPT）NI に合格している者。
国連システム政策専攻(修士課程)	英語で行われる授業に参加し課題をこなすために必要な英語力を有する者。

<言語コミュニケーション文化研究科>

課程	研究科個別要件
博士課程前期課程 博士課程後期課程	日本語能力試験（JLPT）N1 を有する者、またはそれに相当する日本語能力を有する者。

<理工学研究科>

課程	研究科個別要件
博士課程前期課程	日本語での授業を受けるに足る高い日本語能力を有している者。
国際修士プログラム	英語での授業を受けるに足る高い英語能力を有している者。
博士課程後期課程	個別要件なし

<経営戦略研究科>

課程	研究科個別要件
専門職学位課程	英語能力：以下に示す最低点以上のスコアを有する者。 TOEFL iBT (85), TOEFL ITP (570), IELTS (6.0), TOEIC (780), Duolingo DET (115), Pearson PTE-A (55), or Cambridge CPE (169). 注 1 提出が認められるのは出願時点で各団体の定める有効期間以内のスコアに限ります。 Cambridge CPE 以外の英語検定試験では、受験日から2年以内と定められています。有効期限が切れたスコアを使用することはできませんので注意してください。 注2 TOEFL のスコアについて：2026 年 1 月より、TOEFL iBT テストにおいて 1～6 のバンドスコア制度が導入されました。2026 年 1 月 21 日の新スコア制施行前後の受験者におけるスコア区分は以下のとおりです： A minimum overall score of 85 (Pre-January 2026 scoring system) or 4.5 (post-January 2026 scoring system)

3. 出願・推薦書類

以下の「I.全研究科共通書類」および「II. 研究科個別書類」に記載する書類を提出してください。

(注意事項)

- ・出願・推薦書類はいずれも日本語、英語のいずれかの言語で作成されたものを提出してください。
- ・「本学所定用紙」が「あり」の場合は、それを使用してください。
- ・場合によっては追加の書類を求めることがあります。

I.全研究科共通書類

提出書類	注意事項	本学 所定 用紙
(1)志願調書	・データ入力してください（手書き不可）。	あり
(2)出身大学(大学院)の学部長(研究科長)（またはそれに相当すると受入研究科が認めた者）の推薦書	・詳細な推薦内容は不要ですが、被推薦者の氏名、志望研究科を記載してください。	なし
(3)出身大学(大学院)の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書【原本】	・原本で提出してください。 ・卒業（修了）証明書に取得した学士・修士・博士学位名が記載されていること。学位名が記載されていない場合は学位取得証明書も提出してください。 【博士課程前期課程、修士課程、専門職学位課程志願者】 ・出身大学（および大学院）にて英語で発行された証明書原本を提出してください（大学院修了者は大学と大学院両方の卒業（修了）証明書が必要です）。 【博士課程後期課程志願者】 ・出身大学院の修了証明書を提出してください。	なし
(4)出身大学(大学院)の成績証明書【原本】	・原本で提出してください。 【博士課程前期課程、修士課程、専門職学位課程志願者】 ・出身大学（および大学院）にて英語で発行された証明書原本を提出してください（大学院修了者は大学と大学院両方の成績証明書が必要です）。 ・成績証明書に CGPA の記載がない場合は、別途 CGPA について提出を求める場合があります。 【博士課程後期課程志願者】 ・出身大学院の成績証明書を提出してください。	なし
(5) パスポートコピー	・氏名・国籍・パスポートナンバーが記載されている顔写真のページを A4 サイズの用紙にコピーしてください。	なし
(6)奨学金申請書	・奨学金を希望しない場合も提出が必要です。	あり

Ⅱ．研究科個別書類

<文学研究科>

提出書類	注意事項	本学所定用紙
(1)修士論文またはその概要書	・博士課程後期課程を志望する者のみ提出してください。	なし
(2)研究計画書		あり
(3) 日本語能力に関する証明書 【原本】	・日本語能力に関する証明書（日本留学試験（EJU）の成績通知書（もしくは成績確認書）、または日本語能力試験（JLPT）NI（2009年度以前はⅠ級）の認定書・成績通知書）の原本を提出してください。	なし

<社会学研究科>

提出書類	注意事項	本学所定用紙
(1)修士論文またはその概要書	・博士課程後期課程を志望する者のみ提出してください。	なし
(2)研究計画書		あり
(3) 日本語能力に関する証明書 【原本】	・日本語能力に関する証明書（日本留学試験（EJU）の成績通知書（もしくは成績確認書）、または日本語能力試験（JLPT）NI（2009年度以前はⅠ級）の認定書・成績通知書）の原本を提出してください。	なし
(4)英語能力に関する証明書 【原本】	・英語を母語としない志願者の場合、TOEFL®またはIELTS のスコアの原本を提出してください。	なし

<経済学研究科>

提出書類	注意事項	本学所定用紙
(1)修士論文またはその概要書	・博士課程後期課程を志望する者のみ提出してください。	なし
(2)研究計画書		あり
(3) 日本語能力に関する証明書 【原本】	・日本語能力に関する証明書（日本留学試験（EJU）の成績通知書（もしくは成績確認書）、または日本語能力試験（JLPT）NI（2009年度以前はⅠ級）の認定書・成績通知書）の原本を提出してください。 ・上記証明書を持たない者は、経済学研究科が交付する所定の用紙を提出してください。 （日本語学校等で出願者の日本語能力NIに準ずる旨の証明を受けること。）	なし

(4)英語能力に関する証明書 【原本】	・ 英語を母語としない志願者の場合、TOEFL®iBT、TOEIC L&R®、IELTS のスコアあるいは英検（実用英語技能検定）の合格証明書の原本を提出してください。	なし
------------------------	--	----

<商学研究科>

提出書類	注意事項	本学所定用紙
(1)出身大学(大学院)の指導教員の推薦書	・ 英語または日本語で提出してください。	なし
(2)卒業論文およびその概要書	・ 博士課程前期課程を志望する者のみ提出してください。 ・ 概要書は日本語で記入してください。	なし
(3)修士論文およびその概要書	・ 博士課程後期課程を志望する者のみ提出してください。 ・ 概要書は日本語で記入してください。	なし
(4)進学調査書	・ 指導教員の署名が必要です。 ・ 大学院副専攻「国連システム政策」の履修を希望する場合は、その承諾についても指導教員の署名が必要です。署名の方法については、指導教員の指示に従ってください。	あり
(5)研究計画書	・ 研究職コースを志望する者のみ提出してください。	あり
(6)日本語能力に関する証明書 【原本】	・ 日本語能力に関する証明書（日本留学試験（EJU）の成績通知書（もしくは成績確認書）、または日本語能力試験（JLPT） N1（2009 年度以前は I 級）の認定書・成績通知書）の原本を提出してください。	なし
(7)英語能力に関する証明書 【原本】	・ 英語を母語としない出願者の場合、TOEFL®のスコアの原本を提出してください。	なし

<総合政策研究科(博士課程前期課程・博士課程後期課程)>

提出書類	注意事項	本学所定用紙
(1)出身大学(大学院)の指導教員の推薦書	・ 日本語または英語で作成いただくように依頼してください。 ・ 推薦者の押印もしくは自筆署名が必要です。	なし
(2) 研究計画書	・ 必ず指導予定教員から指導承諾をもらってください。	あり

(3) 日本語能力に関する証明書【原本】	・日本語能力に関する証明書（日本留学試験（EJU）の成績通知書（もしくは成績確認書）、または日本語能力試験（JLPT）NI（2009年度以前はⅠ級）の認定書・成績通知書）の原本を提出してください。	なし
(4) 修士論文とその概要書	・博士課程後期課程を志望する者のみ提出してください。 ・修士論文とその概要書（日本語：400字程度、英語100語程度）を提出してください。なお、コピーでも可能とします。	あり

<総合政策研究科（国連システム政策専攻）>

提出書類	注意事項	本学所定用紙
(1) 出身大学(大学院)の指導教員の推薦書	・英文で作成いただくように依頼してください。 ・推薦者の押印もしくは自筆署名が必要です。	なし
(2) 志望理由書 (Statement of Purpose)	・必ず指導予定教員から指導承諾をもらってください。	あり
(3) 英語能力に関する証明書コピー	・TOEFL iBT®、TOEFL ITP®、IELTS、TOEIC®のいずれかのスコア表・成績証明書のコピーを提出してください。 ・各民間試験運営機関が定めるスコアの有効期限内のものに限ります。 ・応募者が英語を公用語とする国で、英語による教育課程（学士）を卒業（見込）の場合は、英語能力のスコア証明書の提出を不要とします。	なし

<言語コミュニケーション文化研究科>

提出書類	注意事項	本学所定用紙
(1) 出身大学(大学院)の指導教員の推薦書		なし
(2) 研究計画書	・日本語で記入してください。	なし
(3) 修士論文またはこれに代わる業績とその概要	・博士課程後期課程を志望する者のみ提出してください。 ・日本語 7,000 字以内または英語 2,000 語以内。ワープロ使用、A4 サイズの用紙・縦、横書き、40 字（全角の場合）× 35 行で設定してください。	なし
(4) 日本語能力に関する証明書【原本】	・日本語能力試験（JLPT）NI（2009年度以前はⅠ級）の認定書・成績通知書の原本、または日本留学試験（EJU）の成績通知書（もしくは成績確認書）の原本を提出してください。	なし

<理工学研究科>

提出書類	注意事項	本学所定用紙
(1)出身大学(大学院)の指導教員の推薦書	・国際修士プログラム志願者は <u>2名以上</u> の推薦書が必要です。 ・国際修士プログラム、博士課程前期課程志願者は、被推薦者を学問的に知る教員からの推薦書に代えることができます。	なし
(2)履歴書	【博士課程前期課程、博士課程後期課程志願者】 ・本学所定用紙に記入してください。 【国際修士プログラム志願者】 ・本学所定用紙はありません。	あり (国際修士プログラムを除く)
(3)卒業論文／修士論文(研究論文)またはその概要書	【博士課程前期課程、国際修士プログラム志願者】 ・卒業論文またはその概要書を提出してください。 【博士課程後期課程志願者】 ・修士論文(研究論文)またはその概要書を提出してください。	なし
(4)大学院特別学生志望理由書	【博士課程前期課程、博士課程後期課程志願者】 ・本学所定用紙に記入してください。 【国際修士プログラム志願者】 ・本学所定用紙はありません。 <u>A4 用紙 3 枚以内</u> で志望理由書を作成してください。	あり (国際修士プログラムを除く)
(5)言語能力に関する証明書【原本】	【国際修士プログラム志願者】 ・TOEIC®、TOEFL®等のスコア表・成績証明書の原本(推奨)。 【博士課程前期課程志願者】 ・日本語能力に関する証明書(日本語能力試験 N1 の成績証明書または日本留学試験(EJU)の成績通知書の原本) 【博士課程後期課程志願者】 〈日本語話者〉日本語能力に関する証明書(日本語能力試験 N1 の成績証明書または日本留学試験(EJU)の成績通知書の原本) 〈英語話者〉英語能力に関する証明書(TOEIC®, TOEFL®等のスコア表・成績証明書の原本(推奨))	なし

<経営戦略研究科>

■専門職学位課程【英語のみ】:

提出書類	注意事項	本学所定用紙
(1)出身大学の指導教員の推薦書	・出身大学(大学院)の指導教員または勤務先の上司や同僚等に作成を依頼してください(自己推薦書及び家族による推薦書は不可)。	なし

	・推薦書は推薦者の所属先機関・企業のレターヘッドを使用し、英文で作成いただくように依頼してください。 ・推薦者の押印もしくはサインが必要です。推薦書に直接署名するように依頼してください（電子署名は不可）。	
(2) 志望理由書および指定テーマに関するレポート	・所定のレポート表紙記載の指示に従い、本人が作成してください。 ・各ページ最下部にページ番号を記入してください。	あり
(3) 英語能力に関する証明書【原本】	・TOEFL ITP[®]、TOEFL iBT[®]、IELTS、TOEIC、Duolingo DET、Pearson PTE-A、または Cambridge CPE のスコア票の原本を提出してください。 ・英語母語話者であっても上記の英語能力試験のスコア証明書の提出が必要です。 ※各団体の定める有効期間以内のスコアに限ります。 ※TOEFL のスコア票(原本) が提出できない場合は ETS のウェブサイトより本学へスコア票の直送を依頼してください。(DI コード: 3818 KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY, Department Code: 02 Graduate Business Organization) ※原本での提出を原則としますが、やむを得ずコピーを提出する場合は、提出するコピーすべての裏面に必ず「原本と相違ありません」と記入の上、本人の署名（直筆）をしてください。	なし
(4) 経営知識を証明する書類【原本】（推奨）	・上記以外の資格や免許の証明書もしくは資格証書や合格証書、その他自己の知識・能力を証明する書類があれば、原本を提出してください。 ・GMAT のスコア証明書、または大学院レベルの経営学科目を履修する能力があることを証明するもの（英文で書かれた卒業論文、学術論文、GRE のスコア証明書など）。 ※原本での提出を原則としますが、やむを得ずコピーを提出する場合は、提出するコピーすべての裏面に必ず「原本と相違ありません」と記入の上、本人の署名（直筆）をしてください。	なし
(5) 職務経歴書	・常勤の社会人経験者の場合は、「職務経歴書（勤務先名、就業 期間、所属部署、役職、業務内容、業績、昇進等を記載）（様式 不問）を提出してください。	なし

4. 送付方法・送付先

以下の手順に沿って、(1)(2)いずれも完了してください。データの提出だけでは出願完了となりませんのでご注意ください。

(1)データによる提出（志願者本人から提出）

「3. 出願・推薦書類」に記載する書類一式を、出願期間内にデータ（所定の形式）で提出してください。

データ形式	関西学院大学大学院海外推薦入学制度 志願調書・・・ <u>Excel (.xlsx)</u> その他書類すべて・・・ <u>PDF (.pdf)</u> ※1つのPDFデータに統合すること。
データ保存名	志願者氏名とすること。（例：John Smith.xlsx/John Smith.pdf）
データ提出先	https://kwansei.app.box.com/f/38ac75d54268482193fb99fc885e77dd

(2)郵送による提出（協定大学から郵送）

データ提出完了後、出願期間内に書類一式を郵送してください。

郵送提出の際は、必ず協定大学を通して国際教育・協力センター宛に出願期間内に必着するように、EMS（国際スピード郵便）または国際宅急便で送付してください。出願者個人からの提出は受け付けません。ただし、すでに協定大学を卒業している等の理由で、協定大学を通して出願書類を提出できない場合は、出願者本人から直接の提出を受け付けます。

郵送先	〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155 関西学院大学 国際教育・協力センター 外国人留学生入試担当 宛 電話番号：+81-798-51-0952 International Admission team, Center for International Education and Cooperation, Kwansei Gakuin University 1-155 Uegahara Ichiban-cho, Nishinomiya, Hyogo 662-8501 Japan tel: +81-798-51-0952
-----	--

5. 推薦期間

2026年10月16日（金）～2026年10月23日（金）※必着

6. 合格発表

2026年12月16日（水）

※協定大学には合格通知書を、出願者には合格通知書ならびに入学手続き書類を送付します。

7. 入学検定料

免除

8. 奨学金制度

(1) 関西学院大学大学院外国人留学生海外推薦入学奨学金

2026 年 10 月出願(2027 年春入学・秋入学)の本入試制度において合格された方から選出します。

■採用人数：4 名

■奨学金額：入学金、学費相当額

■受給期間：標準修業年限内（博士課程前期課程・専門職学位課程・修士課程は 2 年間、博士課程後期課程は 3 年間）

※1 ただし、学費以外のその他諸費については納入する必要があります。

※2 採用の可否は、合格発表時に併せて通知します。

※3 国内在住者の場合、入学金等の受給のために、本学が指定する期間に本学西宮上ヶ原キャンパスにて手続きが必要です。

(2) 国費外国人留学生制度奨学金＜大学推薦国費枠＞

「(1)外国人留学生海外推薦入学奨学金」の採用者を優先的に本制度に推薦します。

■推薦人数：若干名（2027 年度）

■申請要件：2027 年 9 月に入学する者

かつ、その他文部科学省が定める要件をすべて満たす者

※文部科学省が指定する重点地域以外の外国人留学生は申請できません。

■奨学金額：月額 147,000 円（博士課程前期課程・専門職学位課程・修士課程）／148,000 円（博士課程後期課程）、渡日・帰国旅費（実費）

■受給期間：標準修業年限内（博士課程前期課程・専門職学位課程・修士課程は 2 年間、博士課程後期課程は 3 年間）

※1 国費外国人留学生制度に推薦されるためには、文部科学省が定める資格および条件（年齢、国籍、学業成績など）を満たす必要があります。国費外国人留学生制度への推薦可否は、合格発表以降に通知します。

※2 文部科学省の予算見直しが予定されているため、上記に変更が生じる可能性があります。また、国費外国人留学生制度に推薦されたとしても、採用の可否を決定するのは文部科学省であるため、本学による推薦が採用を保証するものではありません。

※3 国費外国人留学生制度に採用されたとしても、学業成績不良等の場合、奨学金支給が打ち切られる可能性があります。

(3) 授業料減免・奨学金

上記の「(1)外国人留学生海外推薦入学奨学金」、「(2)国費外国人留学生制度」に不採用となった者は、次の経済援助制度に出願することができます。

◆関西学院大学私費外国人留学生授業料減免

私費外国人留学生（在留資格「留学」を有し、一定の条件を満たす者）を対象に、本学が授業料の一部を減免する制度です。2026 年度は授業料の 30%を減免しました（2027 年度以降は未定）。

◆関西学院大学大学院外国人留学生奨学金

成績優秀で経済的援助を必要とする外国人留学生を対象に、関西学院大学大学院外国人留学生奨学金制度を下記のとおり設けています。

入学前予約採用…授業料の 50%相当額を支給／入学後採用…授業料の 35%相当額を支給

※本学では入学までに奨学金受給が決定する「入学前予約採用」制度を設置しています。大学在籍時の成績、卒業（修士）論文、入学試験の成績などにより、入学後高い研究成果が期待できる学生を対象に、合格者の約 4 割の学生を奨学金受給候補者として決定し、入学前に通知します。ただし、奨学生として正式に採用されるには在留資格などの一定条件を満たす必要があります。この他にも学外の財団等による各種奨学金制度があります。

9. 入学手続

合格者は所定期間内に入学手続ⅠおよびⅡを完了してください。納入方法等の詳細については、合格者に別途案内します。

(1)入学手続Ⅰ＜入学金の納入＞

2027 年 1 月 12 日（火）までに、指定の銀行口座へ振り込みを完了してください。

(2)入学手続Ⅱ＜学費・その他の諸費の納入＞

下記期日までに、指定の銀行口座へ振り込みを完了してください。

春入学（4 月）の場合：2027 年 3 月 12 日（金）

秋入学（9 月）の場合：2027 年 8 月 20 日（金）

※8(1)の奨学金の採用者は、入学金および学費を奨学金にて相殺します。詳細な手続きについては、別途連絡します。

(注意事項)

- 1.入学手続期間（ⅠおよびⅡ）内に所定の手続を完了しない場合は、入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。
- 2.いったん納入した入学金および提出書類は返還いたしません。
- 3.いったん納入した入学金以外の学費・その他の諸費は、所定期間内に手続を行えば返還請求ができます。
- 4.大学へ入学辞退の申し入れをした後、その決定を取り止めて入学することはできません。

10. 学費

■博士課程前期課程

<文学研究科（心理科学領域を除く）>

（単位：円）

	入学手続時 （入学金＋第1学期分）	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	265,000	265,000	530,000
教育充実費	79,500	79,500	159,000
合計	544,500	344,500	889,000

※上記の他に同窓会入会金 2,000 円、研究雑誌費その他を必要とします。

<文学研究科（総合心理科学専攻心理科学領域）>

（単位：円）

	入学手続時 （入学金＋第1学期分）	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	303,500	303,500	607,000
実験実習費	26,000	26,000	52,000
教育充実費	91,000	91,000	182,000
合計	620,500	420,500	1,041,000

※上記の他に同窓会入会金 2,000 円、研究雑誌費その他を必要とします。

<社会学研究科>

（単位：円）

	入学手続時 （入学金＋第1学期分）	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	265,000	265,000	530,000
教育充実費	79,500	79,500	159,000
合計	544,500	344,500	889,000

※上記の他に同窓会入会金 2,000 円を必要とします。

※特定の授業科目を履修する者は、秋学期のみ実験実習費 25,000 円を必要とします。

<経済学研究科>

(単位：円)

	入学手続時 (入学金＋第1学期分)	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	265,000	265,000	530,000
教育充実費	79,500	79,500	159,000
合計	544,500	344,500	889,000

※上記の他に同窓会入会金 2,000 円、研究雑誌費その他を必要とします。

<商学研究科>

(単位：円)

	入学手続時 (入学金＋第1学期分)	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	265,000	265,000	530,000
教育充実費	79,500	79,500	159,000
合計	544,500	344,500	889,000

※上記の他に同窓会入会金 2,000 円、研究雑誌費その他を必要とします。

<総合政策研究科>

(単位：円)

	入学手続時 (入学金＋第1学期分)	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	343,500	343,500	687,000
実験実習費	12,500	12,500	25,000
教育充実費	103,500	103,500	207,000
合計	659,500	459,500	1,119,000

※上記の他に同窓会入会金 2,000 円、研究雑誌費その他を必要とします。指導・担当教員選択手続きで特定の教員を指導教員とする者は、実験実習費が 50,000 円（年額）となります。

<言語コミュニケーション文化研究科>

(単位：円)

	入学手続時 (入学金＋第1学期分)	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	265,000	265,000	530,000
教育充実費	79,500	79,500	159,000
合計	544,500	344,500	889,000

※上記の他に同窓会入学金 2,000 円、言語コミュニケーション文化学会会費 4,000 円（年額）を必要とします。

<理工学研究科（国際修士プログラム含）>

（単位：円）

	入学手続時 （入学金＋第1学期分）	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	357,500	357,500	715,000
実験実習費	43,500	43,500	87,000
教育充実費	104,000	104,000	208,000
合計	705,000	505,000	1,210,000

※上記の他に同窓会入会金 2,000 円を必要とします。

※数理科学専攻のみ、実験実習費が年間 59,000 円（学期ごとに 29,500 円）となります。

■専門職学位課程

<経営戦略研究科>

（単位：円）

	入学手続時 （入学金＋第1学期分）	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	720,000	720,000	1,440,000
教育充実費	112,500	112,500	225,000
合計	1,032,500	832,500	1,865,000

※上記の他に、学生に配布する研究雑誌費として年間 4,000 円（学期ごとに 2,000 円）、同窓会入会金として 2,000 円、IBA 研究フォーラム入会金として 10,000 円が必要となります。（IBA 研究フォーラム は、経営戦略研究科の教員・学生・修了生の研究交流を推進することを目的とした団体です。）

■博士課程後期課程

<全研究科共通>

（単位：円）

	入学手続時 （入学金＋第1学期分）	第2学期分	合計
入学金	200,000	-	200,000
授業料	216,000	216,000	432,000
教育充実費	65,500	65,500	131,000
合計	481,500	281,500	763,000

※上記の他に同窓会入会金 2,000 円、その他を必要とします。

※社会学研究科のみ、特定の授業科目を履修する者は、秋学期のみ実験実習費 25,000 円を必要とします。

11. 入学後の身分【文学研究科・理工学研究科・言語コミュニケーション文化研究科のみ】

文学研究科・理工学研究科・言語コミュニケーション文化研究科の入学生は、入学後、特別学生となります。

①入学後、各研究科が定めた期間以上経過した時点で、修得した諸科目の成績などを考慮して、各研究科委員会の判定により特別学生から正規学生へ身分変更することができます。

正規学生への身分変更の手続きについては、各研究科に確認してください。

②正規学生に身分変更した場合、特別学生として既に修得した大学院での単位は、正規の単位として認定されます。

③特別学生として入学した者が修士または博士の学位を授与されるためには、正規学生に身分変更をおこなってから1学期間以上の在学期間を要します。

<問合せ先>

関西学院大学国際教育・協力センター

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

TEL：+81-798-51-0952

E-MAIL：intl-admissions@kwansei.ac.jp